第 28 回奈良市文化振興計画推進委員会 会議概要			
開催日時	平成 30 年 9 月 10 日（月）午前 10 時から正午まで		
開催場所	奈良市役所北棟 6 階第 23 会議室		
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 奈良市文化振興補助金について		
出席者	委員	中川会長、萩原委員、村内委員、山下恭委員	
	事務局	中川市民活動部次長、谷田文化振興課長、川井課長補佐、小谷係長、荒益、大西、一柳（以上文化振興課）	
開催形態	公開 (一部非公開)	(非公開の理由)	奈良市情報公開条例第 29 条第 3 号
		非公開の具体的な理由等 奈良市文化振興補助金の交付候補事業の適否審査を行うにあたり、委員の公平な判断を確保するため、一次審査の採点・評価に関わる部分について非公開とした。	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●今回の会議録の署名は、中川会長と萩原委員が行う。 ●市民文化活動支援補助金は 11 事業全てが平均点 50 点以上であるため、交付候補事業とする。 ●都市文化推進事業支援補助金は 4 事業全てが平均点 50 点以上であるため、二次審査の対象とする。 		
担当課	市民活動部文化振興課		
議事の概要			
<p>(この委員会は、奈良市情報公開条例第 29 条第 3 号の規定により一部非公開とする。)</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本日の会議の成立について説明した。 <p>2 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は奈良市情報公開条例第 29 条第 3 号の規定により一部非公開とする旨説明があり、出席委員全員の承認があった。 ・本日の署名委員は中川会長と萩原委員であることを確認した。 <p>3 議事：奈良市文化振興補助金について (事務局から議事説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度予算編成が例年よりも早まっており、今年度策定した要項を適用し、急ぎ補助金交付候補としての適否を審議いただきたい。 ・補助金交付要項の概要について、「市民文化活動支援補助金 (50 万円上限)」、「都市文化推 			

進事業支援補助金（広域参加型 300 万円上限、国際的発信型 1000 万円上限）」がある。補助率はどれも対象経費から収入を差し引いた額の 2 分の 1 以内。

- ・平成 31 年度補助金要望があった事業は、「市民文化活動支援補助金」が 11 事業、「都市文化推進事業支援補助金（広域参加型）」が 4 事業の合計 15 事業である。この 15 事業について交付要領の基準を超えた事業は交付候補事業として決定し、予算編成の中で案を作成し、議会の審議を経て予算を定めるものとする。

（審査方法について、事務局から説明）

審査の流れについて

- ・本日は一次審査であり、補助金の交付要望者から提出された要望書等を精査、採点いただく。「市民文化活動支援補助金」は一次審査で交付候補事業としての適否が決定され、「都市文化推進事業支援補助金（広域参加型）」は二次審査の対象となる事業であるかを決定する。
- ・二次審査では、「都市文化推進事業支援補助金（広域参加型）」の要望団体によるプレゼンテーションを行い、一次審査の採点と併せて総合的に評価・採点いただき補助金の交付候補事業の適否を判断いただく。
- ・これらの審査結果については、当委員会から市長に報告いただく。

審査項目について

- ・審査は、共通項目の公益性・有効性・適格性・必要性の 4 項目と、事業別項目のいずれか 1 項目の計 5 項目において行う。
- ・それぞれの評価基準については、奈良市文化振興補助金審査要領の別表 2 を参照。
- ・各委員の審査の点数の平均が 50 点未満であった場合は、交付候補事業としないこととする。

一次審査の方法について

- ・交付要望事業に係る要望書等について、各委員で質疑・意見交換等を行った後、「審査項目表（委員記入用）」の一次審査欄のいずれかの点数に○をつけていただき、事務局が回収する。
- ・質疑・意見交換（4 分）→採点→回収を 1 サイクルとして、15 事業を審査いただく。
- ・全ての採点が終了後、事務局で集計し、審査結果を説明する。

二次審査の方法について

- ・交付要望団体によるプレゼンテーション、その後質疑応答を行った後、「審査項目表（委員記入用）」の二次審査欄のいずれかの点数に○を付けていただき、事務局が回収する。
- ・プレゼンテーション（7 分）→質疑応答（7 分）→採点→回収を 1 サイクルとして 4 事業を審査いただく。
- ・全ての採点が終了後、事務局で集計し、審査結果を説明する。

（審査方法について、委員からの意見）

- ・審査項目表について、公益性の 3 つの着眼点ごとに 5 点配点ではなくて、3 つの着眼点を総

合して採点するということか。

→ (事務局) そうだ。

・主催者の食糧費は対象外経費として考えたら良いか。

→ (事務局) 対象外経費である。

・奈良県補助金の交付団体があるが、交付要項では問題ないか。

→ (事務局) 収入から奈良県補助金は差し引いて、補助率 2 分の 1 以内としている。

一次審査 (書面審査) 採点・集計 (非公開)

一次審査の結果：評価平均点 (各交付要望事業について委員からの意見)

- ① 第 44 回奈良市華道展覧会：62.3 点
- ② 奈良市文化芸術祭：63.5 点
- ③ 奈良市音楽協会第 32 回定期演奏会：68.0 点
- ④ なら燈花会能：62.0 点
- ⑤ 春日大社清書会：67.3 点
 - ・企業協賛がないようだが、得たら事業の広がりも出てより良いのではないか。
- ⑥ 奈良市美術家協会：67.8 点
- ⑦ 春日大社親と子の写生会：69.3 点
- ⑧ 第 46 回奈良市ママさんコーラス発表大会：62.8 点
- ⑨ なら人形劇ミニフェスタ：72.3 点
- ⑩ 秋篠交流コンサート AKISHINO クリスマスコンサート 20：67.3 点
- ⑪ 奈良フィルハーモニー管弦楽団第 44 回定期演奏会：65.0 点
- ⑫ なら市民フェスティバル：72.3 点
 - ・なら市民フェスティバル事業には、1. 緑の祭典、2. タウンコンサート、3. 奈良市文化祭なら市民フェスティバルと 3 企画あるが、3 番目の企画にだけ「なら市民フェスティバル」と付いていないため、同一事業だとわかりにくい。3 企画全てに「なら市民フェスティバル」と冠をつけたほうが良い。
- ⑬ 日本トスティ歌曲コンクール 2019：69.3 点

⑭ 学園前アートフェスタ 2019 : 72.0 点

⑮ 第 4 回 春日野音楽祭 : 74.3 点

→市民文化活動支援補助金

11 事業全てが平均点 50 点以上であるため、交付候補事業とすることが決定。

→都市文化推進事業支援補助金

4 事業全てが平均点 50 点以上であるため、二次審査の対象となることが決定。

(全事業に対する委員からの意見)

- ・いくつかの事業の運営収支（一般会計）にて、「奈良市補助金」と項目があり、運営補助金であるかのように誤解を招くため、項目として書かないよう指導が必要である。事業収支（特別会計）にて「奈良市補助金」を計上するのが適切である。
- ・支出について、「一式」計上は補助金交付事業では適切ではない。今後はきちんと内訳を明記するよう指導すること。
- ・補助金の必要性として「会費を安くしたい」という事業が多いが、本来は事業目的に対する補助金の必要性を説明してもらうことが重要である。

(その他、委員からの意見)

- ・この委員会は政策がきちんと動いているかを見ていく委員会である。この委員会の委員が数人入っても良いが、事業に詳しい補助金審査委員会を作ってはどうか。
- ・今後補助金審査委員会を作る際には、個々の事業毎でなく、音楽・美術・舞台などの分野全体として、どう補助金を活用し、どの分野のどの部分を振興していくかという方向性を議論した上で、審査をする必要があるのではないか。例えば、この地域での音楽祭は振興すべきだが、こちらの地域では同様の事業が他にもあるため精査をする、など。

議事終了、閉会

■次回委員会：9月11日（火）10時から（第19会議室にて）